

K O Σ M O Σ

Vol. 14, No. 1 (No.45)1979. 4. 20

東洋大学図書館における 冊子目録とその使い方

本学図書館の蔵書約45万冊と4,500種余の雑誌の運用は館員でも多くを目録にたよっています。これは量的な側面もありますが、やはり正確な記録がABC……や1, 2, 3……という単純で記号化できる文字や数字の順に並べられ順をおうと探せるという利点にかかっているからでしょう。

求める本がなくとも改訂版や訳書があつてほつしたり、予期しない類書の発見に助けられたり、目録は使いこなすと副次効果が大きいものです。ちょうど、一冊の本をたどると各章末の文献や巻末の参考図書に導かれて、ひとつのテーマが文献の世界で拡っていくのに似ています。

ここでは既刊の冊子目録を御紹介し、あわせて利用の次のステップを考えたいとおもうのです。

<冊子目録一覧>

A. 哲学堂図書館図書目録。全1巻

大正15年刊。学祖井上門了の蒐集による哲学堂の旧蔵書目録。国漢書10,738冊、仏書10,458冊、計21,196冊を収録。索引は未刊の書名索引が原稿カードのままだが、国書については「国書総目録」(岩波書店)で、仏書については「仏書解説大辞典」(大東出版社)で他館の所蔵状況と共に所在を確められる。

B. 百人一首類書目録解説稿

東洋大学紀要・文学編、第23集、(昭和44)に掲載。本学図書館所蔵の「百人一首関係コレクション」の解説目録。担当は吉田幸一教授と神作光一教授。一部図版入り64頁。

C. 中島徳蔵先生寄贈図書目録。全1巻

昭和45年刊。元東洋大学長中島徳蔵の旧蔵書目録。和漢洋の混排で巻末に著者索引がある。年譜著述目録、肖像などの伝記資料も入っている。

D. 東洋大学増加図書目録。第1—10号

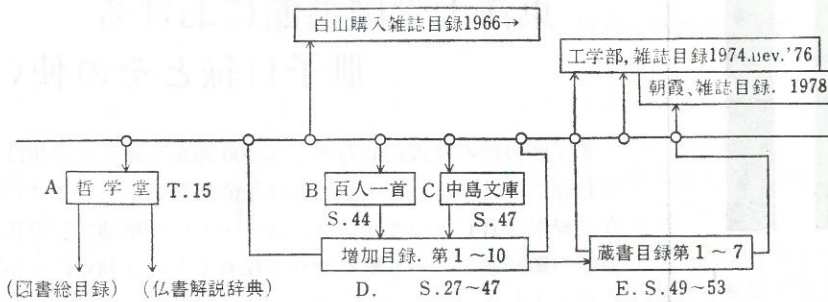
昭和27年以降、昭和42年までに整理を完了した図書及び旧分類の切替図書の目録。第1—3号は和漢書中心、第4号以降は洋書も収録、第5号から工学部分館(川越)の蔵書も加えた。第6号以降は和漢書の部と

冊子目録について	1
私のすすめる	
一冊の本	3
注意一秒銀貨一枚	5
大蔵経・仏教全書の 利用方法	6
工学部分館だより	8
日誌(54年1月～ 3月)	8

洋書の部の二分冊としたため既刊分は計16冊となる。本体は分類目録で各冊ごとに著者索引がある。

E. 東洋大学図書館蔵書目録。全7巻

昭和24年以降、昭和47年3月末日までに整理を完了した図書の目録。創立以来所蔵の旧分類図書の再編成部分を含む。この時点までの工学部分館の蔵書も入っている。和漢書編と洋書編の二部に分れ分類順目録。著書索引（書名つき）に一部分人名件名をも索引化してある。



<目録の使い方>

カードでも冊子でも同類の目録にはちがいがありません。しかし up-to-date に新規受入分が繰り込まれるカード目録は便利ですが一覧性にかけて持ち運びは困難です。冊子目録はこの欠陥を補って相互貸借の手段ともなりますが、多くの予算と時間を要し、時には刊行の時間差が学問の日進月歩と呼応しない部分も出てきます。相補って利用されることを前提にすこし共通部分の検索例をあげてみましょう。

著者名	書名	分類	蔵書目録
Wilson, C	アウトサイダー	904	第3巻
〃	続アウトサイダー	904	3
〃	バーナードショー	932.7	3
〃	Encyclopedia of murder	319.12	4
〃	実存主義を超えて	934.7	3
〃	オカルト	147	1
〃	Ritual in the dark	933.7	5
〃	殺人の哲学	369.12	2
〃	性の衝動	141.74	1

これは辞書体目録の著者名カードでウィルソンの著作をひいた例です。辞書体目録の性格上、著者、件名、書名のいずれからでも直接探せます

a. 東洋大学継続購入逐次刊行物目録。昭和41—53。

昭和41年以降、年刊で出されている購入逐次刊行物のリスト。和雑誌の部と洋雑誌の部の二部構成で、それぞれ誌名のアルファベット順配列。

b. 東洋大学図書館工学部分館「雑誌目録」

昭和49年刊。昭和51年に改訂版を出した。

c. 朝霞分館継続購入雑誌目録1978。

以上が既刊の目録ですが収録範囲や年代で整理すると次のようになります。

が、著者名カードの下ではすべての著作が集り、件名カードの下では角度をかえて主題ごとに文献が集ります。目録体系の異なる分類目録と蔵書目録（分類順）での所在を併記してみました。いくつにも所在が別れますから自ずから著者索引の必要性が出てくるのがわかるでしょう。

著者	書名	分類	篇委目録
Smith, A	富国論 (社会哲学新学説大系5)	080	第1巻
〃	国富論	331.321	2
〃	〃 (世界大思想全集11)	081	1
〃	〃 (世界の名著31)	080	1
〃	〃 (世界の大思想14)	080	1

これはアダム・スミスの富国論（訳）を探した例です。経済学の古典で331.321という分類をひけばありそうなものですが、多くは書誌の単位を異にして分散し、ここにみるだけでも三ヶ所に分れています。本学の場合、叢書に収録された場合でも原則として一点ずつその内容からひける見出しを作成しているの著者名カードでひくと通常一度の模索ですべてが出て来ます。これもカード目録であれ蔵書目録の索引であれ同じことです。

(村田)

特集 私のすすめる一冊の本

今年も新学期が始まり、研究、サークル活動等々希望に満ちた日々を送っていることと思います。さて図書館では今回図書選択委員の諸先生方にお願ひし、「私のすすめる一冊の本」と題する特集をいたしました。学生の皆さんにとって有益な指針となることと思います。

(注：掲載は執筆者のアルファベット順・文末の記号は請求記号)

速水 融編 「歴史のなかの江戸時代」 東洋経済新報社
穂本 洋哉 (経済学部)

本書は、編者速水融氏が雑誌『諸君!』に連載した対談をまとめたものである。速水氏は江戸時代史を専攻する経済史家

であり、また、わが国の数量経済史研究の第一人者としても名高い。氏はかねてより、既存の経済史研究の枠組にとらわれない、史実を重視した実証研究をすすめてきているが、そうした研究過程で得られた江戸時代に関する新しい視角、主張が対談形式の本書の随所に見受けられる。

また、載録された8回のほとんどは江戸時代史以外を専攻する人々との間でなされたものである。それぞれの専門分野(経済学、地理学、気象学、民俗学、西洋史等々)からみた“江戸時代史像”が語られ、編者との意見の交流がはかられている。

固定化された、通説的歴史観の“殻”を破ることを目指した本書の一読をすすめたい。(整理中)

堀田 善衛著 「ゴヤ」 新潮社
江村 洋 (文学部)

これはスペインの代表的画家の一人ゴヤ(1746~1828)の伝記である。しかし本書はゴヤの伝記であると同時に、彼が

生きた時代つまり18世紀中期から19世紀初期にかけてのスペイン史であり、また著者が永年思い描いていたスペイン文化論でもある。しかも著者の視野はゴヤという一人物、スペインという一国に限られることなく、広くヨーロッパ全体に広がられているので、本書は興味深いヨーロッパ文化論といってもよいのである。著者はまずスペインの

地勢から説き起しているが、ゴヤがどのような所で、どのような時代に生まれたのか、彼のおびただしい量の作品がどのような背景から成立したのかが克明に描写される。読者はいかにしてゴヤが時代の荒波と戦いながら彼の絵画に新境地を切り開いていったか、彼の創出したものがいかに痛烈に当時の風潮を批判しているかをよく知ることができる。それとともに18世紀という時代がどのような時代であったのか、18世紀から19世紀に移行するにつれてヨーロッパがどのように変遷していったのかも、きわめて具体的に明瞭に理解されることであろう。

(702.8:HY)

P.G.ユールンハンマー著 亀田政弘訳 「人間主義の経営」 ダイヤモンド社
柿崎 洋一 (経営学部)

本書“People at Work”は、今後における経営のあり方に関連して、“仕事と人間の本質”との関係を研究するという

基本的な問題提起がなされているものである。経営における合理主義思想 Rationalism は、機械化さらにオートメ化へと進展し、“教育を受けた自動機械”としての人間を作り出すに至っている。しかし同時に、働く人間は、「非人間的な労働条件に対し、きわめて人間的な反応を示しはじめた。あちこちへの転職、計画的欠勤、無関心な態度、敵対心、ときには悪質ないたずら等々がそれである」。P. G. Gyllenhammer は、このような経営の合理化に対する認識をふまえて、“人間的で意味ある”仕事を作り出す作業の再編成を探求する。しかし、P. G. Gyllenhammer の人間性尊重による VOLVO 経営は、これにつぎるものではない。それは、「健全で人間的な“脱工業社会” postindustrial society」への接近という壮大な内

容を持つものである。つまり、経営における“仕事と人間の本質”との関係は、工業化された民主主義社会のあるべき姿に取り組みながら説かれているのである。このような意味で、今後の経営学のあり方を考えている学生諸君にも有益な文献の一つとして本書をすすめたい。(整理中)

ロバート・ハッチンズ著
田中久子訳
「偉大なる会話」
岩波書店

ロバート・ハッチンズは、驚くべきことに30歳の若さでシカゴ大学の総長に選任され、1951年まで20年余その職にあっ

たひとである。その経歴だけからも、卓越した人物であったことが想像されるであろう。

そのハッチンズも、大学に入学したころはどこにでもいるような普通の学生であった。また30歳ごろまではあまりしっかりした読書もしなかったと、この本のなかで書いている。そうした点ではたいへん親しみやすいところがあるといえる。

この本でハッチンズは、一般教育とは何かを論じている。かれは教育の基本は自由教育(リベラル・エデュケーション)でなければならないと主張する。教育をたんに資格を取るための方便や有利な就職の手段とみなす考え方をする者が多いが、ハッチンズはそれをマテリアリズム(唯物主義)の思想だとしている。自由教育は主に古典を読むことを通じてなされ、その内容こそが「偉大なる会話」に他ならないという。

一般教育はなんのためにあるのか——そういう疑問を感じたとき、この本は貴重な示唆を与えてくれるであろう。(発注中)

内田種臣著
「様相の論理」
早稲田大学出版部

永井成男
(短期大学)

本書『様相の論理』の著者内田種臣氏は早稲田大学助教授で本学短大の講師でもある。同書は双書『現代の論理』の

一冊で現代論理学において様相論理学と呼ばれる一分野の入門的概説書である。大学の一般教育の論理学では、基礎のみを扱うので論理学の応用に言及することが少ない。この欠点を補うためには本書は必読に値するものの一つである。様相論理

学の基礎に当る真理様相の論理から始められ、その応用に当る時間の論理、認識と信念の論理、規範(例えば道徳規範)の論理、命令法の論理、そして最後に、チョムスキーの変形文法から分れた最新の文法理論であるモンテギュー文法——が厳密、詳細に紹介される。特にモンテギュー文法に言及した類書がなく、これが本書の最大の特色の一つとなっているが、これからの若い言語研究者はここを避けて通ることはできない。

著者は様相論理学及びその周辺の哲学に関してはとりわけ優れた業績をもつ屈指の論理学者、哲学者である。本書は決して平易に読める本ではなく、むしろ難解である。しかし本書と取組んでその困難を克服する若者の現われることを切に望む。(整理中)

R・J・チェンバース著
塩原一郎訳
「現代社会会計論」
創成社
品田誠平
(経営学部)

この本は現代社会会計に関する諸問題を第1章から第16章に分化し、しかも、それらを教授の独自の見解に基づいて統

一し鮮かに解明している。したがって会計学をこれから学ぼうとするものにとって、現代社会会計の何んたるやを理解するために役立つ著書としてすすめたい。内容の一端を紹介し、推薦の理由を説明すれば次のごとくである。

たとえば第14章においてはインフレーション会計について叙述しているが、多くの学者が混同ないし不鮮明に取扱っている価格変動と貨幣価値変動とを峻別し、また、一般物価指数と再調達原価による再評価の相違点を指摘しているところからも明らかなごとく、この著書は会計技術論的解説書に非ずして会計学理論の展開書として高く評価しうるものと思されるからである。(発注中)

村上陽一郎著
「新しい科学論」
講談社
ブルーバック B373

田中陽児
(文学部)

科学の問題は、人間がこれから破滅せずに生きつづけていくのか、それともそうではないのかを決める重要な要因の一つである。ところが、世間でも、学問の世界でも、科学という現代文化のエッセンスについて、

きわめて19世紀的な、古くて実際の役に立たないとらえ方をしていることが非常に多い。科学的といいさえすれば、真理にもっとも近いもの、科学者といえ、もっとも厳正中立の判断を下すもの、といった思い込みなどはその一例である。本書は、そのような、それ自体非科学的で、迷信に近い思い込みを、いろいろな角度からゆさぶりつけ、結局、科学も科学者も時代の思想の一部分でしかなく、それだからこそ、未来の科学に期待をかけるのだということを平易な生き生きとした筆致で論じている。科学信仰に毒された年輩者世代のわれわれからみると、若い諸君がこうした常識から出発できるのはほんとうに幸せなことだと思う。一読をすすめたい。(発注中)

内田 百閒 「東京焼盡」 中公文庫
暉 峻 凌 三 (文学部)

百閒・内田榮造(1889~1971)は漱石門下の作家。壮年時代は法政大学などでドイツ語教師を勤めた。アメリカによる

東京初空襲は1942年4月18日。ラジオはその日臨時ニュースのあと「空襲何んぞ恐るべき……」の歌とベートーベン第五交響曲を流して国民の戦意をあおった。情報局という役所ができていて言論を「上から下へ」取りしきった。そして1944年11月から翌年5月にかけて東京は大かた焼土と化した。本書はこの空襲激化の期間における著者の

日録であり被災記であり、当局の操作する情報とは対極の、生活者の自分誌である。(整理中)

中川 浩一著
「旅の文化誌—ガイドブックと時刻表と旅行者たち」

伝統と現代社

上野 破魔治
(短期大学)

観光は学としては未だ幼いと言える。

これを学ぶには二つの立場が考えられる。一つは社会学・経営学・法学あるいは

心理学等々の個別科学からドリルして行く方法で、それぞれの独立した科学の応用学としての立場。もう一つは観光を総合文化科学として捉えて行くやり方である。前者には専門化・実用化の点では効果があるが「木をみて森を見ず」のように全体を見失う危険がある。後者は全体の姿を掴むには便であるが、実態の集積羅列におわりやすく蓋然的法則は見出し難い。社会科学と精神科学の法則の間には、超えることのできない論理の障壁があるからである。実経験のない初学者には、後者の手法をもって入らざるを得ないと思われるが、あくまで哲学的理解を忘れてもらいたくない。本著者は前者の立場にあり、一見地理学の視野から「書誌」に偏執のきらいがあるが、観光を「学」に高めようとする情熱をかい、あえて初学者に奨めるゆえんである。座右に「事典」として備え付けるに値するものである。復刷の写真・図版等が不鮮明な点は惜まれる。(発注中)

注()は白山についてののみ。

〈注意 一秒銀貨一枚〉

— 100円玉をお忘れなく! —

図書館のロッカーは100円玉使用のものと、コイン用の二種があります。コインは閲覧のカウンターに常備してあり、100円玉使用のものは、開けた際、鍵の下にお金が戻るようになっております。しかし、この100円を受取らずに帰る人が以外に多いのです。昨年の4月から2月までの合計は、金参万五千六百円也。1ヶ月平均は約3,236円。1日に最低1人は忘れてゆく計算になります。

この忘れられていった100円はどうなるので

しょう?まず、図書館では厚生課に届けます。厚生課は本学所轄である富坂署の会計厚生係に、そしてそれは東京都の雑収入に繰越まれるのです。

赤字の都財政にささやかな貢献も良いけれど、帰る時もう1度100円玉の確認をお忘れなく! アテンション・プリーズ

コピーの釣銭を忘れていく人も多いです。(尚、ロッカー使用は当日限りです。念のため)

(白山)

大蔵経・仏教全集の利用方法；専門外のひとのために

仏教関係の図書は、印度哲学を専攻するひとたちだけでなく、国文学や日本史を専攻するひとたちからも、大変多く利用されています。印度哲学専攻の方は利用の方法を大体理解されていると思いますので、ここでは、特に専門外の方に明治以後日本で発刊された仏教全集の主なものについて、少し詳しく説明します。

仏教関係の全集は、一般に冊数が多いので、ある仏典を図書館員に出してもらおうとしても、それが全集の中の第何巻であるかをいわなければ、すぐに本が出てこなかったり、あるいは貸出中であれば、いつ返却されるのか、等々の回答が遅くなる場合があります。他の全集ではそれに収録されたもので、以前に刊行されたことがあれば、それぞれについて、カードが作成されているので、ある全集の中の第何巻であるかを指定することはカードを見れば分ることが多いのです。しかし仏教関係の全集はそれに収録された点数が極端に多く（例えば、大正新修大蔵経は3053部の仏典を収録しています）、そのひとつひとつについてカードを作成することは、困難なのが現状です。またそういうことをしなくても、すでにある目録や索引をうまく利用すれば、自分の必要なものが、どの全集の第何巻に収録されているか、簡単に知ることができます。以下に実例をあげながら、目録や索引の上手な利用方法を説明します。

1. 利用する目録・索引の種類

通則——目録・索引を利用する際の一般的な通則は、できるだけ網羅的に資料を収録している最新のものを利用することです。また逆にいうとその目録・索引のクセを知っておくことが必要です。

イ. 仏書解説大辞典 180.31 : B-2 : 2 日本、中国で刊行された仏教書を網羅的に収録し、③の項目でどの全集にその資料が収録されているかを示しています。

ロ. 大正新修大蔵経目録 183 : T : 1d 大正蔵経に収録された仏典が他の8つの全集のどれに

収録されているかを探することができます。

ハ. 成田図書館蔵書分類目録；仏教部 029.8 : N : 2 全集の中味がひとつひとつバラバラであるので、この図書館で所蔵する全集のどれに各仏典があるのか知ることができます。

ニ. 国書総目録 025.1 : K-2 明治になるまでに日本人が著述したものを網羅的に収録し各種全集のどれに収録されているかは、各項目末の(活)の所で知ることができます。

ホ. 仏典解題事典 183.031 : B 主要な仏典が7つの全集のどれにあるかを知ることができます。但し網羅性に欠ける憾みがあります。

2. ケース別の探し方

イ. ある全集に収録されていることがわかっている場合——専用の目録があればそれを使う。但し、専用目録がない場合が多い。

ロ. 日本人が書いたものであることが分っている場合——国書総目録で、各項目の(活)の所を見る。

ハ. 和訳されたものが欲しい場合——成田図書館目録か大正蔵経目録を使う。但し大正蔵経目録で知ることのできる和訳体の全集は国訳一切経と南伝大蔵経だけです。また日本人の著述であれば国書総目録は非常に有効ですが、国訳一切経に収録のものは知ることができないのが欠点です。

ニ. 漢文体のものでよい場合——仏書解説大辞典か成田図書館目録を使う。大正蔵経に収録されている可能性は極めて高いので、いきなり大正蔵経目録を使うのもよいでしょう。但し日本大蔵経や大日本仏教全書に収録されていながら、大正蔵経に収録されていないものがあるのがいくつかあるので、注意が肝要です。

ホ. 何が何だかさっぱり分らない場合——係に手伝ってもらうのもひとつの手ですが、その前に仏書解説大辞典か成田図書館目録を見てください。特に前者はその仏典についての概要が要領よく説明してあるので、自分の欲しいものがいったいどのようなものなのかを知るのに役立つはずで

す。またこれと並行して仏典解題事典も参考にされるとよいでしょう。これも同じく、主要な仏典がどのようなものであるか、また今までの研究がどうであるかの概略を知ることができま

3. 蛇足(?)

イ. 凡例に注意する——目録や索引には各種の記号・略号が使用してあるので、その意味が分らなければ本の最初にある凡例を見て下さい。

ロ. くれぐれも巻数の指定を忘れずに——仏教関係の全集に限らず、全集や雑誌を出してもらう場合は、巻数(雑誌の場合は号数も)を忘れないで下さい。これを忘れると、本を出すのに大変時間がかかります。

(右の表は昭和54年3月31日現在のものです。)

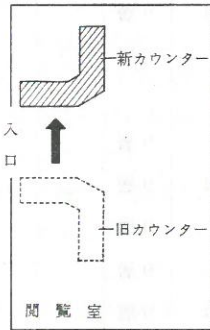
注
印哲=印哲研究室
室

予定=刊行予定

書名(略称)	請求記号	所蔵 箇所	目録 の有無	索引として使用できる図書						
				仏 解 大 辞 典	書 大 正 蔵 目 録	成 田 函 書 館 目 録	田 解 事 典	仏 典 題 目 録	国 書 題 目 録	書 目 録
縮冊藏經	183 : D-2	9層	○	○	○					○
卍字藏經	未所蔵		○	○	○					
卍字統藏經; 原本	未整理	1層	○	○	○	○	○			
卍字統藏經; 台湾本	183 : M-3	教員 閲覧	○							
大正新修大藏經	183 : T	9層	○	○	○	○	○	○		○
国訳一切經; 印度選述部	183 : K-2	9層	○		○	○	○	○		
国訳一切經; 和漢選述部	{183 : K-2 183 : K-2 : 2}	9層	○	○	○	○	○	○		
南伝大藏經	183 : N	9層	○		○			○		
仏教大系	180.8 : B-3	9層		○						
日本大藏經	183 : N-2	9層	○	○		○				○
増補改訂日本大藏經	未所蔵		○							
大日本仏教全書; 旧版	180.8 : D	9層	○	○	○	○	○	○		○
大日本仏教全書; 新版	180.8 : D : 2	9層	○							
国訳大藏經	183 : K-3	9層					○	○		
昭和新纂国訳大藏經	183 : S-2	9層					○	○		○
真言宗全書	188.5 : S-3	9層	○				○			○
統真言宗全書	未所蔵						○			
智山全書	188.5 : C	9層					○			○
豊山全書		印哲	○				○			○
統豊山全書	188.5 : Z	9層	○				○			
天台宗全書	188.4 : T-2	9層	○				○			○
国訳聖教大系	未所蔵						○			○
浄土宗全書	188.6 : J	9層	○	○			○			○
統浄土宗全書	188.6 : Z	9層		○			○			○
西山全書	未所蔵			○						○
真宗全書		印哲		○			○			○
真宗大系	188.7 : S-4	9層		○			○			○
統真宗大系	188.7 : Z	9層	○				○			○
日蓮宗全書	未所蔵									○
禅学大系	188.8 : Z-7	9層		○						○
国訳禅学大系	未所蔵									○
国訳禅学大成	188.8 : K-5	9層		○						○
国訳禅宗叢書	188.8 : K-4	9層		○			○			○
曹洞宗全書	188.8 : S-4 : 2	9層					○			○
統曹洞宗全書	188.8 : S-4	9層								○

工学部分館だより

現在、分館の閲覧係は、図書の貸し出しと返却、レファレンスその他いろいろと兼務しています。その中で一番頭が痛いことは、ここ数年来、毎年400冊以上もの図書が紛失していることです。利用者のモラルの問題としてみなさんに考えてもらいたいと思いますが、係の方でも防止策のひとつとして、閲覧室のカウンター、参考図書類の書架および目録カードケースの配置換えなどについて検討してきましたが、学生の春季休暇中のこの3月に、図のようにカウンターの位置換えを実施いたしました。今までは閲覧室に入るとカウンターは右側にありましたが、今度の位置換えで左側の窓近くになりました。陽あたりがよく明るい上、閲覧室全体を見通すことができるので、今までこっそり飲食していた学生さんにとっては、楽しみがひとつへってしまったことになるのかな？



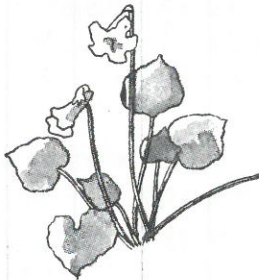
日誌 (54年1月17日～3月17日)

- 1月17日 図書館運営委員会
- 26日 工学部分館連絡会
- 31日 白山連絡会
- 2月1日 工学部分館運営委員会
- 13日 図書館運営委員会
- 26日 東北学院大学図書館 佐藤勇夫、荒孝夫氏見学のため来館
- 3月2日 私立大学図書館協会東地区部会 (於東海大学校友会 犬田、山内参加)
同協会東地区研究部会 (於東海大学校友会 池田、遠藤参加)
- 9日 大正大学埼玉分館 小舟氏朝霞分館へ見学のため来館
- 13日 名古屋短期大学図書館長、教授名倉静一氏見学のため来館
- 16日 私立大学図書館協会東地区部会新旧合同役員会 (於東海大学三保研修館 山内、池田参加)
- 17日 私立大学図書館協会新旧合同役員会 (於東海大学三保研修館 飯島館長、犬田分館長、山内、池田参加)

《お知らせ》

今度、図書館では分類・辞書体目録の使い方を下記の要領で利用案内いたします。

期間 4月9日～7月18日(但し毎週土曜は除く)
時間 午後3時～午後4時
場所 分類・辞書体目録コーナー



Vol. 13, No. 5. (No. 44) 「朝霞からの手紙」 の新春クイズ回答 (A郡—B郡—C郡)

松本清張—鬼畜—(なし)、山崎朋子—サンダカン八番娼館—高橋洋子、ガルブレイス—不確実性の時代—BBC放送、呉承恩—西遊記—日本テレビ、伊佐千尋—逆転—NHK、大岡昇平—事件—大竹しのぶ、フレックス・ヘイリー—ルーツ—社会思想社。

編集後記

今期編集委員による最終号を送り出し、一同ホットしているところです。利用者と図書館のパイプ役として、また親しみやすい紙面にと努めてきましたが、充分果されませんでした……。

「コスモス」をよりよいものにするため、皆さんの声をおよせ下さい。

(藤井、井田、岩田、久保田、生野、内田)